



東の窓

今年度も、もうまとめの時期に！

近隣府県では、「緊急事態宣言」が発令され、本県でも新型コロナウイルスの感染者が増加の一途をたどっています。いつ、誰が感染しても仕方のない状況です。目に見えないウイルスですから、気をつけていても感染してしまうかもしれないのが現実です。感染した人が悪いのではありませんし、感染者や医療に携わってくださる方々への誹謗・中傷はあってはならないことです。感染予防と同時に、子どもたちとともに考えていきたいです。

そのような中、今年度子どもたちの発案で新たにできた「人権委員会」(5・6年生の委員会活動)が、『ふわふわの木』の取り組みを始めます。この『ふわふわの木』は、友だちからされてうれしかったことや言葉を全校児童が一人1枚用紙に書きます。それを人権委員会の子どもが集めて、1階渡り廊下に掲示する予定です。「ふわふわ言葉をたくさん集めて学校を明るくしよう」と取り組みます。

早いもので、来週から2月に入ります。学習もいよいよまとめの時期になりました。

また、6年生は、卒業式までわずか33日になりました。2月からは卒業に向けて、いろいろなお祝いイベントが行われます。今年の『6年生を送る会』は、密を避けるために、体育館に全校児童が入るのではなく、6年生が待つ体育館に、発表する学年が順番に入っていく形で行う予定です。発表をしない時は、各教室で大型テレビに中継で流れる体育館の様子を視聴する予定です。

1年生から5年生は、今までお世話になったお礼の意味を込めて卒業をお祝いします。6年生は、1年生から5年生にこれからの愛知川東小学校をますます良い学校にしたいという気持ちを伝えます。

保護者、地域の皆さまには、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

『節分』とは

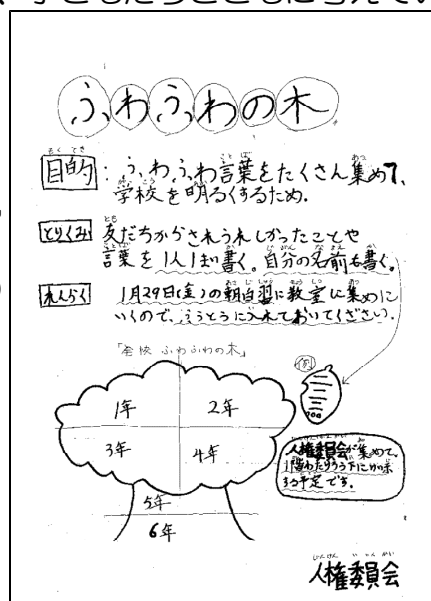
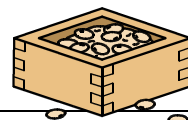
2月2日は『節分』です。(今年は、124年ぶりに2月2日です。)
「節分」とはいったいどういうことなのでしょう。

もともとは四つの季節の移り変わる日を「節分」と言っていました。つまり、日本には年に4回「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の「節分」があるのです。

現在は「立春」の前日だけを『節分』といて、「太巻き」や「イワシ」を食べると一年間元気で過ごせる。また、「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをすると「福」が来て、良い年になるなど言われています。

一日も早くコロナがおさまりますように・・・。

私たちも、今年一年元気でいられますように・・・。



3歳まではダメ。子どもに豆をあげるときは注意を
なお、消費者庁は毎年、子供の豆を食べたことによる窒息事故に注意を呼びかけています。

子供は喉が未発達で気管に物が入りやすく、豆やナッツ類で窒息する恐れがあります。小さな破片でも気道に入ったまま放置していることで、気管支炎や肺炎を起こすことがあるとして、同庁は「3歳頃までは、乾いた豆・ナッツ類は食べさせないようにしましょう」としています。

例年になく、大変短い冬休みでしたし、家庭の中でも可能な限りマスクをしながら過ごされたのではなんでしょうか。全国の新型コロナウイルス感染者数が高止まりのままです。愛荘町の感染者数が5名で止まってくれていることが、奇跡のようで、本当にありがたいことですが、だれが感染しても仕方のない状況であることを決して忘れてはいけません。『□□市や△△町で感染者がでたんやて。』『若い人かな。新年会でもしてやったんかな。』なんてことをつい言ってしまったり、耳にしたりしていないでしょうか。目に見えない新型コロナウイルスのことです。市中感染も広がっていると言われていました。ウイルスが変異して、若い人にも子どもにも感染が広がっているとも言われます。いつ何時、自分が感染していて、家族などの身近な人を感染させてしまうかもしれないのが現実です。感染した人が悪いのではあり
ません。気をつけていても感染してしまうかもしれないのが現実です。感染者や医療に携わってくださっている方
への誹謗中傷があってはならないことを、子どもたちとともに考えていきたいと思っています。